

去る7月、標記の研究大会が松山市内で開催されました。この大会の目的は、人間の尊厳と人権の確立をめざした研究と実践の交流をおして、これからの人権教育の在り方とさまざまな人権問題を解決する実践の道筋を明らかにすることです。これまで培ってきた人権・同和教育の成果をさらに発展させ、広がりや深まりのある大会を願い盛大に開催されました。

全体会での企画行事として宇和島の龍神太鼓・津島平安太鼓合同「雅」の熱演がありました。この太鼓集団は、日頃から差別解消への学習を深めるとともに、その解放への熱い思いを太鼓の力強い響きに込めて演奏活動を続けています。小学生の太鼓集団も結成し、差別を許さない力と仲間との深いつながりを育てています。

第1分科会「人権確立をめざす教育の創造」では、西条南中学校の河野克典先生から、「A君との出会いと3年間のあゆみ」と題して、「障害」のあるA君やB君と生徒・教師・PTAとの関わりから「差別の現実学ぶ」姿勢が、様々な問題解決への道を切り開いてくれることなど、多くのことを学んだ報告がありました。

第4分科会「地域の教育力の創造」では、西条市から「輝く生き方を求めて」と題して、野村幸男さんと池田秀一さんより解放塾「プロジェクト二〇〇八」の設立と活動についての発表がありました。「解放塾」を通して先人の取り組みに学び、多くの人たちとの出会いから仲間の輪が広がってきたことや、劇に関わる中で自分の差別性に向き合い、差別を超える方向に歩み続けることが「輝く生き方」であるとの報告がありました。

この分科会で心に残ったのは、行政・学校・運動団体からの働きかけでなく、市内にある解放塾やNPO法人など、市民の自発的な活動の報告が多かったことです。

高知県日高村の「わのわ会」では、60名のボランティア会員が中心となり、暮らしの中で起きる課題を自分たちで解決していくためのコミュニティ産業を開発、展開する中で、「年齢」や「障害」に関係なく社会参加できる地域づくりに取り組んでいます。まさに、人が人らしく暮らせるまち、人権文化の花さくまちづくりではないでしょうか。

ありがとうございました

次のかたがたからご好意、ご寄付等をいただきました。厚くお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽丹 仁司(桑村)、▽武本幸義(高田)、▽秋川信二(明理川)、▽笹本陽地(三津屋)、▽玉井由美子(壬生川)、▽青野 修(丹原町古田)、▽しんぼりかみ子供屋台、▽アサヒビール(株)四国工場、▽アサヒビール園(株)伊予西条店、▽(株)メフォス、▽(有)西条やっこ屋、▽(有)安岡蒲鉾、▽(株)内子フレッシュパークからり、▽森の国ホテル、▽虹の森公園、▽花の森ホテル、▽(株)高松駅弁、▽(有)アオキスポーツ、▽みずほ倶楽部、▽高砂演歌クラブ、▽東予地域漁業協同組合連合協議会、▽ウエストジャパン、▽丹原歌謡クラブ、▽国際ソロプチミストいしづち

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子(下島山甲)、▽散髪 伊藤泰博(明神木)、▽新聞 芥川秀人(神拝甲)、▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子(大町)・長瀬 皋(中野甲)、▽野菜 河端 勇(下島山)、▽尺八演奏・講演 曾我部水位山(丹原町北田野)、▽歌・踊り いきがい研究会、▽歌・講話 天理教道前支部、▽うちわ作成交流会 西条高校JRC部員・一般生徒

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽琴城流大正琴演奏 曾我部カズエ他(丹原町北田野)、▽喫茶・カレンダー作り・紙芝居 コープえひめ福祉グループ

西条市差別をなくする 市民の集い

—丹原会場—

九州大学非常勤講師の林力さんを講師に迎え、「これからの人権と同和問題」と題した講演会を開催します。

このほか、シルバーコーラス福寿草合唱団、PTAコーラスエモーション、道前太鼓の皆さんによる合唱や演奏、人権作文の発表を行います。

会場には小・中・高校生による人権標語・習字・ポスターを展示します。

■日時 9月10日(土) 19時～21時30分

■場所 丹原文化会館 大ホール

■問合せ 丹原総合支所 保健福祉課

TEL0898-68-7300内線210

ちょこっと
Eco



■旬のものを残さず食べよう

日本で食べるものの約60%は海外から輸入し、たくさんのエネルギーを使って野菜を作っています。旬の地元産のものを残さず食べることも地球にやさしい生活なのです。

※例えば冬の温室栽培のトマトにかかるエネルギーは夏の露地栽培の約10倍にもなります。